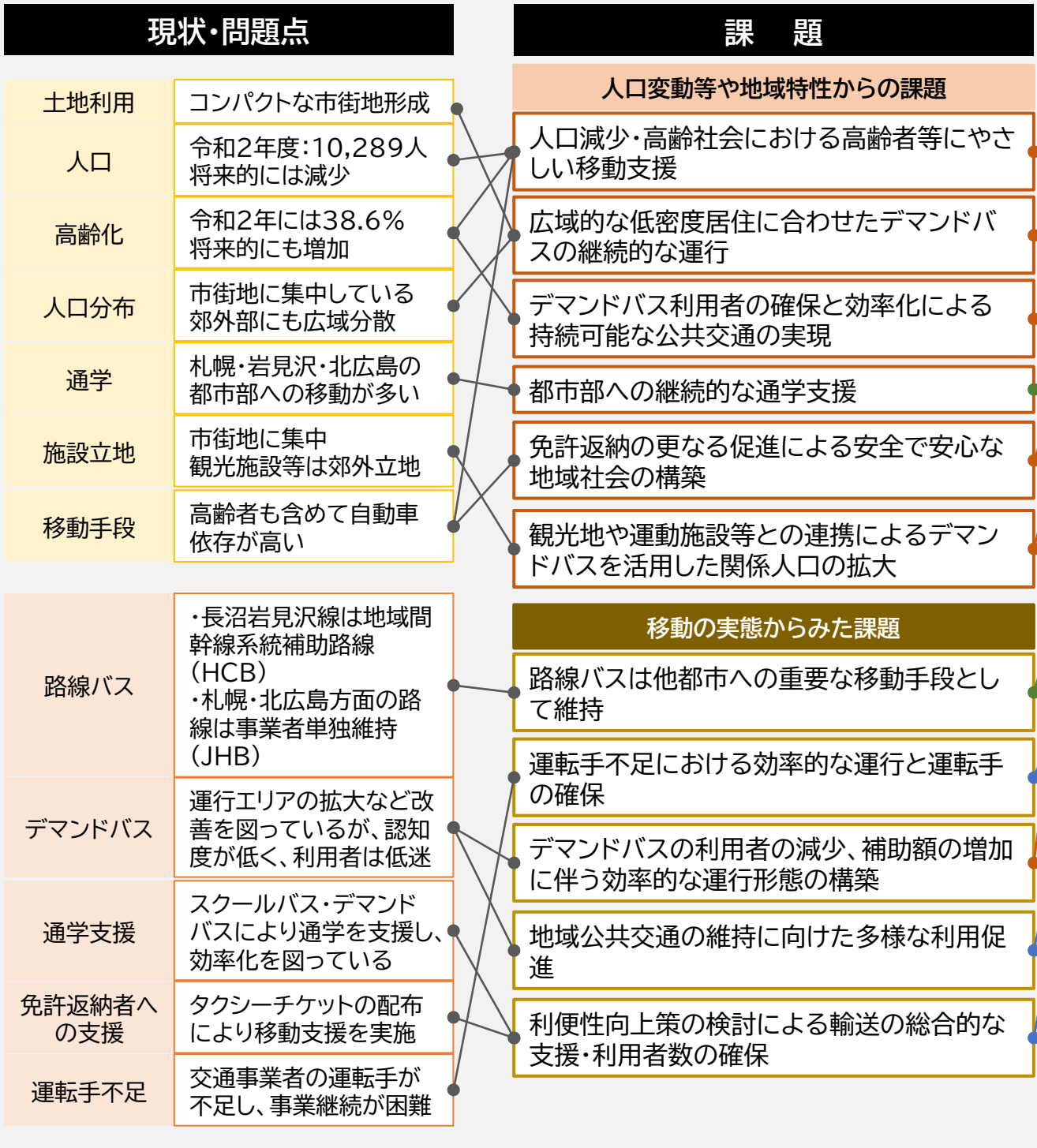


長沼町地域公共交通計画【概要版】 (令和6年～令和10年)

長沼町では、都市間を結ぶ路線バス、町内を運行するデマンドバス、更にはスクールバス等の多様な輸送資源が運行しており、これらを活用した公共交通体系の維持・改善方策の検討を行い、地域に合った持続可能な地域公共交通の構築に向けた「長沼町地域公共交通計画」を策定します。

基本方針 地域公共交通の維持による町民の足の確保と交流の促進

交通事業者の努力だけでは地域公共交通を維持することが困難であり、行政の支援や地域住民・観光客等の利用者の確保により、現状で運行している公共交通の維持に努めるとともに、より良い輸送支援の在り方を継続的に検討します。



上位・関連計画における位置づけ

デマンドバスの運行継続と運行サービスの向上

観光客など交流人口の拡大を含めた移動利便性向上

デマンドバスと鉄道の乗継利便性向上

MaaSや自動運転、グリーンスローモビリティ等の新技術の導入検討

土地利用と連動した公共交通軸の形成と交通結節点の整備

地域間幹線系統の維持

利用者ニーズ把握による適切な運行

凡例 基本目標1 基本目標2 基本目標3

基本目標1 デマンドバスによる町内の移動利便性の確保

- 施策① デマンドバスの改善による利用者数の確保
- 施策② デマンドバスとスクールバスの連携による効率的な運行体系の確立
- 施策③ 観光需要に応じた新たな停留所の検討
- 施策④ ICT技術の活用による効率的な運行体系の構築

基本目標2 町内交通と広域交通の連携による移動支援

- 施策⑤ 乗継拠点におけるバスを利用しやすい環境の改善
- 施策⑥ 乗継時間を考慮した時刻表の設定
- 施策⑦ MaaS、グリーンスローモビリティ、自動運転等の新技術の活用検討

基本目標3 町民への情報発信と対話型の利用促進策の実施

- 施策⑧ 鉄道・路線バス・デマンドバスなどの総合的な情報発信の実施
- 施策⑨ 町民との意見交換会による町民意識の把握
- 施策⑩ 体験乗車会の開催
- 施策⑪ 運転手不足に対応した取組の強化と担い手の移住・定住促進

▼評価指標及び数値目標

指標	評価指標	現況値	将来目標	評価
		令和4年	令和10年	
指標①	町内を走る路線バスの利用者数	64,000人	64,000人	維持
指標②	公共交通への公的資金投入額	デマンド 3,517万円	デマンド 3,500万円	継続 支援
指標③	町内を走る路線バスの収支率	35.3%	35.0%	維持
指標④	デマンドバスの利用者数	10,951人	11,000人	維持
指標⑤	デマンドバスの収支率	3.9%	4.0%	維持
指標⑥	意見交換会の開催回数	出前講座 1回	毎年1回以上 開催	継続

計画の進行管理

長沼町地域公共交通活性化協議会がPDCAサイクルによって評価・検証を行うことに加え、行政や交通事業者のみならず地域住民による参加など、それぞれが主体的に実施することで持続可能な公共交通網を構築する。また、毎年評価・検証を行いながら、計画期間中においても必要に応じて見直ししながら、継続的に公共交通に係る事業を推進する。